

2時間で学ぶ作曲家2017

～バッハ & メンデルスゾーン～

バッハとメンデルスゾーンは、時代が異なるにもかかわらず、音楽史上、深いつながりがあるとともに、両者とも、生前と没後の評価のギャップがあまりにも大きいという点もよく似ています。彼らの音楽人生をたどりながら、「大作曲家の誕生」の背景に隠された真実を読み解きます。

- 講 師 米田かおり (本学講師) ●会 場 昭和音楽大学 C511教室 (南校舎5F)
 ●時 間 14:00～16:00 (13:30受付・開場) ※教室が変更になりました。
 ●受講料 一般 1,500円/1回 学生 1,000円/1回 (小～高校生無料/要申込)
 本学 卒業生・附属音教生 1,000円、在学生・教職員 無料(要申込)



第1回 7月1日(土)	第2回 9月16日(土)	第3回 10月14日(土)	第4回 11月25日(土)
バッハ①	バッハ②	メンデルスゾーン①	メンデルスゾーン②
「教育パパ」バッハの信念：「息子を大学に！」	ライプツィヒが「バッハの町」となった理由	「バッハ復活」の立役者：音楽界のサラブレッド登場	ロマン派ナンバーワンの実力と名声を獲得した音楽家：その実像と虚像
今日「バロックの巨匠」と誉れ高いバッハは、当時にタイムスリップしてみれば、幼い頃に両親を亡くした後、努力を重ねながら能力を磨き、より良い仕事を求めて転職を繰り返す、いわば「たたき上げ」の職業音楽家でした。だからこそ「将来の出世のためには大学進学が必須」という信念のもと、自分の息子には「教育パパ」ぶりを発揮します。バッハが家族のため、そして自らの野心のためにいかに頑張っていたか、その知られざる素顔にせまります。	1723年にライプツィヒの音楽監督に就任したバッハは、この町の音楽活動を充実させるために大奮闘しますが、彼の努力は町のお偉方に必ずしも認められず、悔しい思いにかられることもありました。しかし彼は終生ライプツィヒにとどまり、この地の音楽発展に貢献します。バッハの音楽に対する熱い情熱に注目しながら、ライプツィヒ時代の作品をみていくと同時に、彼がなぜその死後に音楽史の表舞台から忘れられてしまったかについても考察します。	教養あるユダヤ人大富豪の御曹司メンデルスゾーンは、幼い頃より類まれなる音楽の才能を発揮し、一族の全面的なバックアップのもとで順風満帆の音楽人生を歩み始めます。彼は20歳のとき、世間から長い間忘れられていたバッハの《マタイ受難曲》を指揮し、バッハを「ドイツ音楽家の父」として蘇らせます。これを契機に新進気鋭の音楽家としてヨーロッパ音楽界から大注目を浴びることとなった若きメンデルスゾーンの姿を追っていきます。	メンデルスゾーンが生前、指揮者、作曲家、ピアニスト、教育者としていかに高い評価を得ていたか、また「大音楽家」として彼が当時の音楽界にどのような影響を与えたか—たとえばシューベルトの知られざる交響曲「ザ・グレート」や、「売れない作曲家」の親友シューマンの作品を演奏会で取り上げる等—について注目しつつ、死後は彼がユダヤ人であるゆえにその評価が不当に貶められていく過程についても触れていきます。

《主催・お申込み・お問合せ》 昭和音楽大学チケットセンター TEL.044-953-9899 FAX.044-953-1311

- ・お申込み完了の折り返し連絡は致しません。ご了承ください。 E-mail lifelong@tosei-showa-music.ac.jp
 ・受講料は当日受付にてお支払いください。・未就学児のご入場はご遠慮いただいております。・内容は変更になる場合がございます。



〔切り取らずに送信してください〕

申 込 書

平成29年 月 日

昭和音楽大学演奏センター 行 FAX 044-953-1311

講座名	□第1回 7/1 (名) □第2回 9/16 (名) □第3回 10/14 (名) □第4回 11/25 (名)		
フリガナ			
氏 名	TEL	()	
	FAX	()	
住 所	(〒 —)		
所 属	一般 〃 〃 フレンズ会員 (No.)	一般学生	小～高校生
	本学… 卒業生 附属音教生 在学生 (No.)	教職員 (No.)	

※お申込みの際にいただいた個人情報は、講座開催・運営及び本学の催しのご案内のみに使用いたします。